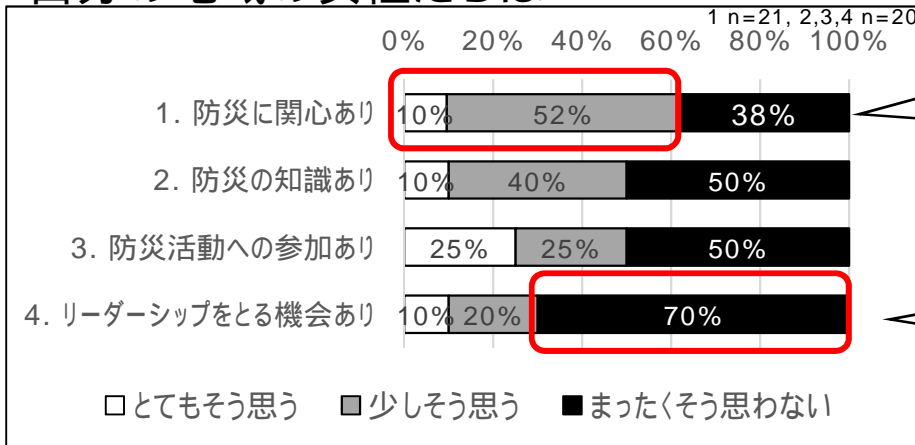


私たちの意見は こうでした



女性の防災へのかかわり度は？

自分の地域の女性たちは・・・



「関心のある人が多い」と思っている人が沢山いるね

「防災のリーダーシップをとる機会がない」と思う人が多いんだね

みんなのコメント

内容を種類ごとに分けましたので、一部をご紹介します

防災への関心が薄い

「危機意識が薄い」
「いざというときはネットで情報・知識を得られると思っている」
「『どうにかなる』と思っている」

町会の参加が難しい

「参加するきっかけがない」
「町会に入っている人がどの人がわからず、つながれない」
「町会での集まりがあるのか、ないのかわからない」
「いいおつきあいばかりとはいえ、ず・・・かかわりを持つことを積極的に参加するかというと、悩むところではある・・・」

「町会費を払うメリットがわからない」
「町会に入っていない人が多い」

気持ちがあっても・・・ 女性が力を発揮することが難しい

「(町会の)主要メンバーが男性で構成されている」
「女性中心で参加できる防災イベントがない」
「町内会など、防災活動の参加者に女性が少ない」
「防災ボランティア講座を受講し、町会の手伝いをする気持ちがあるが声がかからない」
「リーダーシップをとって興味のある人に伝えたくても、集まれない。忙しいので、集まるための機会を皆が持てない。」
「関心はあっても、どことつながればいいのか」
「知識はあっても、共有する場がなかなか無く、どうしたら良いのかわからない」

地域に情報がない

「防災に関する連絡・案内を見かけない」
「町会掲示板がいつもスカスカ・・・防災の広報紙を見ない」
「どんな防災活動をしているか知らない」
「防災イベント情報がない(賃貸マンションの場合)」

時間がない/合わない

「仕事をしていると、地域の防災活動には日程的に参加できない」「自分も含め、働いていて参加していない。参加するタイミングがない」
「家事が忙しくて、そもそも参加に消極的になってしまう」

防災訓練が活発でない

「訓練などが積極的に行われていない」
「訓練をやっても参加者が少ない」